

# ノロウイルスの変異と大流行の恐れ

県感染症情報センター

## 聞き 感染症を 知る ◆17◆

8月28日、国立感染症研究所(感染研)と、中国江蘇省で23件

川崎市健康安全研究所の集団急性胃腸炎が発症したのは、昨年の冬に中国で流行したノロウイルス

が国内で感染を広げており、大きな流行となる恐れがあると注意喚起を行いました。今回は、ノロウイルスの変異と予防についての話をします。

▼ノロウイルスに変異 2014年9月から調査から、15年2月以

降、中国で検出された GII・17型が広がりをみせていることが明らかになってきました。

また、感染研がウイルスを詳しく調べたところ、ヒトへの感染に

つき

ノロウイルスの GII・4 変異ウイルスが世界的な大流行となつた。

同じように一部の地域(ハンガリー、ドイツ)で変異ウイルスが誕生

月ごろから患者が急激に増えはじめ、高齢者施設、医療機関、保育所、小学校やホテルなどで集団感染や食品に

混入して起こる食中毒などが、全国で相次ぎ流行が拡大し、大きな

の場合、大流行になる可能性があるとし「注意喚起に努める」よう、流行前のこの時期に情報を公表したのです。

現在、GII・17型の検出は中国、日本に限られた地域ですが、地球規模で広がる新たな火種とならないことを祈るばかりです。

## 広がる変異型の脅威

▼予防のポイント

## 手洗いなどで対策を

関与する遺伝子部分に変化がみられ、そのため蛋白(たんぱく)構造に違いが生じたことで、獲得してきたこれまでの抗体が役に立たない可能性が高いことが、研究結果から判明したのです。

し、瞬(またた)く間に世界中に広がり、その後ノロウイルスの主な型として流行してきたのです。

社会問題となったのは記憶に新しいところで、そこで感染研は GII・17型が秋以降も主流を占めるような状況

ノロウイルスに効くワクチンや特効薬はありません。感染のほとんどは口を通じて侵入すると考えられていることから、食事の前に

わが国でも、本県を含む地方衛生研究所の調査から、15年2月以

▼歴史から何を学ぶ わが国では、06年10

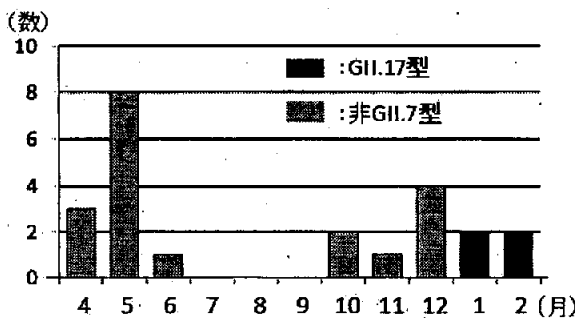
流を占めるような状況

を染み込ませたペーパータオルなどを使い、周辺から中心部に囲い込むように処理することを着装し、消毒液を約50倍に薄めたもの(市販の塩素系漂白剤)を用意し、消毒剤

は必ず十分な手洗いを励行してください。また、患者の吐物や汚物を処理する際は、使い捨ての手袋とマスクを着用し、消毒剤を約50倍に薄めたもの(市販の塩素系漂白剤)を用意し、消毒剤

を染み込ませたペーパータオルなどを使い、周辺から中心部に囲い込むように処理することを着装し、消毒液を約50倍に薄めたもの(市販の塩素系漂白剤)を用意し、消毒剤

を約50倍に薄めたもの(市販の塩素系漂白剤)を用意し、消毒剤



(H26年～H27年)

第2木曜日掲載